

職種の違いを考慮した医療従事者養成課程におけるB型肝炎に関する教育資材の開発研究

背景

- ◆ 平成28年度厚生労働科学特別研究「医療従事者養成課程におけるB型肝炎に関する教育についての研究」（操 華子）において、4職種の養成課程（看護師課程、准看護師養成課程、臨床検査技師養成課程、歯科衛生士養成課程）全体で、偏見差別防止の啓発教育の講義を実施していると回答した課程は36.5%、実施していないと回答した課程は63.2%であることが明らかとなった。

目的

- ◆ 本研究は、多施設共同による、多職種の医療従事者養成課程において活用可能な、B型肝炎に関する正しい知識教育を行うための教育資材を開発し、教育展開例やその評価指標を提案することを目的として行った。

結果

- ◆ 『これだけは知っておきたいB型肝炎ガイド』と題して、多職種の医療従事者養成課程において活用可能なe-learning及び下記3点のリーフレットを作成した。
 - ・「医学生/医師・歯学生/歯科医師向け」
 - ・「看護学生・看護師・歯科衛生士向け」
 - ・「臨床検査技師を志す学生・臨床検査技師向け」
- ◆ 教育資材の内容として、①疫学、②自然経過、③診断、④再活性化、⑤感染予防、⑥治療の6項目に分け、各項の後にセルフアセスメント問題を設けた。
- ◆ 大阪市立大学医学部4年生、大阪医科大学看護学部1年生と4年生に対して行ったアンケートでは、いずれの項目についても概ね高い評価が得られ、本教育資材の有用性を確認した。

- ◆ 大阪市立大学肝胆脾病態内科学講座（研究代表者所属）のホームページより、リーフレット及びe-learningをご覧ください。



【これだけは知っておきたい B型肝炎ガイド】

<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/education/hepatitis-b-guide.shtml>